

Suma Tomogaoka 通信

兵庫県立須磨友が丘高等学校 総合学科推進部
令和4年度 第2号 7/19

教育実習生に聞く

5月30日から3週間（2週間の実習生も）の実習を終えました。学習活動だけでなく、文化祭への取り組みに参加するなど貴重な経験が出来たことと思います。実習生の皆さんに友が丘での学びがその後の学生生活にどのような影響があったかを振り返ってもらいました。

■ 須磨友が丘での「総合学科」としての学びの中で、何が興味深く、意欲を持って取り組みましたか？

- ・『心理学』 心についての様々な問題を学習した。普通科高校では体験できない授業を受けることができた。
- ・『スポーツ医療と栄養』 解剖学や栄養、ケア方法などスポーツをする上で大切な知識を学べたことが、現在学生トレーナーとしての活動に生かされている。
- ・『神戸学』 自分の生まれた神戸の歴史を学ぶことが出来、地元愛が深まりました。フィールドワークも多く取り入れられており、実際に行ってみることができるなど魅力的な授業でした。

■ 総合学科ならではの須磨友が丘での学びにはどのようなものがありましたか？

- ・自分のキャリアプランを考える機会となった職場訪問があった。
- ・クロスカリキュラム で学んだことを大学で活かすことができた。
- ・他言語や多文化の授業やクロスカリキュラム、また課題研究を通して、教科の垣根を越えた学びがあった。
- ・総合学科での学びは、多くが実践的で、高校を卒業しても活かす場面が多いと感じている。
- ・普通科にはない授業や行事がある。課題研究では文章力や発表する力を鍛える事が出来たと実感している。そのことは大学に入って生かされている。職場訪問での職業研究は今に繋がっている。



回答・協力していただいた教育実習生のみなさん

■ 須磨友が丘高校で経験したことが、大学に進んで大いに生かされたと感じたことはありましたか？

- ・大人数の前でプレゼンする時に、折角だから楽しもうと思えるようになった。
- ・3年間を通して、自分の好きなことや興味のあることについて、自ら探究することができ、将来の進路選択に役立った。
- ・課題研究においてプレゼンテーション力が鍛えられたと感じます。大学では前に出て発表することが多いので、そんな場面でもうろたえることなく良い発表ができるようになりました。
- ・課題研究で行なった内容を、さらに発展させたものを卒論のテーマに設定しました。課題研究がなければ卒論のテーマも山登りや登山がなかったかもしれない。
- ・プレゼンテーションや話し合いの機会が率先して動くことができているのは、高校での経験があったからこそ。ゼミでもプレゼン資料や段取りが良いと褒められます。
- ・1年生の夏に短期語学研修に参加しました。初めての海外でのこの研修経験がモチベーションとなり大学でのアメリカ留学に繋がりました。須磨友が丘に進学を決めたのも短期語学研修があったからです。

1年次 職場訪問

6月から準備して来た職場訪問が7月11日（月）12日（火）に実施予定でした。生憎、12日は気象警報が発令され、中止となりました。代替事業として9月2日（金）に今回訪問予定していた内のいくつかの事業所に来ていただいて職業人講話を開催予定です。次回、報告させていただきます。

3年次 課題研究全体発表会

1年かけて課題研究・論文作成に取り組んで来た38回生。1学期は各ゼミで論文の内容をパワーポイントを使ってプレゼンテーション発表をしました。7月15日（金）には全体発表会の場で各ゼミ代表生徒が発表しました。次回、発表内容や感想などを報告させていただきます。



1年次 「産業社会と人間」 講演会（1学期第2弾）

【 ハテナソソワークショップ 】 【 プレゼンテーションの重要性 】

5月13日（金）の「産業社会と人間」の授業では、講師として京都産業大学から佐藤賢一先生をお迎えし、「問いを立てることの意義」をテーマとしたハテナソソワークショップを行いました。問い（はてな）をつなげていく（マラソン）「はてな+マラソン=ハテナソソ」を行うことで、疑問や課題を深化させることを学びました。

6月3日（金）の授業では講師として京都芸術大学から吉田大作先生をお迎えし、「プレゼンテーションとは何か」をテーマとした講演会を行いました。自分の考えを他者に伝えるにあたり重要なことは何かということ、具体的な事例を用いて分かりやすくお話していただきました。「問いを立てること」「他者に伝えること」は2、3年次で行う課題研究につながる重要な要素であるため、今回の2つの講演会での学びをしっかりと習得し、使いこなせるようにしていってほしいと思います。

【生徒の感想より（抜粋）】

・ハテナソソ講演会（1-5生徒より）

私は疑問に思うことがよくあるが、すぐに忘れてしまう。それは、その場で答えを考えだそうともせず、なぜだろうと解明すらしないからだと思う。しかし今回の講演により、答えを考えるだけではいけないと分かった。疑問に思うようなことがあれば、答えより、新たなことに気づいて、自ら問いを立てたいと思う。そうすることで知識が広がり、自分に役立てることができると思う。



【生徒の感想より（抜粋）】

・プレゼンテーション講演会（1-1生徒より）

私は講演を聞いて、プレゼンはプレゼントであって、誰をどんな気持ちや状態にさせたいのかを決めることが大切なんだと気づかされました。また、表現するよりも準備のほうが大切で、特に骨格となる情報収集と肉付けとなる編集に時間をかけていくと良いということを知りました。そう考えた理由は、今までもクラスメイトの前でスピーチをしたり、発表したりする機会があって、たくさん練習してきたけど失敗したらどうしよう、や、みんなにどう思われるかと不安なことが多くてとても緊張した経験をしてきたからです。しかし、今回の講演からプレゼンする意味や準備の手順を教わり、プレゼンは相手の気持ちと準備が大切なんだと思いました。



2・3年次 著作権に関する勉強会

7月8日（金）、2・3年次生を対象に、著作権の基礎知識に関する講演会を行いました。講師には、兵庫県弁護士会より吉田維一弁護士をお招きしました。

SNSや学校内での著作権の扱いなど、身近な具体例を出しながら、「知らなかった」では済まされない注意すべきポイントを分かりやすく解説していただきました。

2年次生は、「課題研究」の中で各自のテーマに沿って、研究活動を行っています。情報を集め論文を執筆する際に、法的に留意しなければならないことを学ぶことができました。また、3年次生にとっては、大学へ進学してからや、日常生活においても大変役立つ内容でした。

【生徒の感想より】

- ・学校教育は特別に引用やコピーが認められているので、それを当たり前と思わないようにします。写真など「誰かの顔」も権利があるので、その著作権も注意しようと思いました。
- ・講師の吉田さんが様々な例を出してくださって、何がよくて何がダメなのか最後にはだんだん分かってきたので、この知識を生かせるようにしたいです。
- ・著作権について知る機会は今までに多々あったが、日ごろ著作権を気にしながら生活することがあまりないので、今回の講演を通してSNSを利用する際は、一度著作権について考え直してから利用したい。
- ・動画の転載を多く見かけるけど、それは許可をとっているのだろうか、今回の話を聞いて思いました。動画の転載をしている多くの人が許可をとらずにあげているのなら、取り締まりを厳しくしないといけないのではと思いました。

